

登録コード	SSG05613	開講年度	2026										
授業題目	特別研究（生物学ユニット）										担当教員	小笠原 慎治	
英文授業名	Special Research(Biology Unit)										副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	・不定期								
講義室							備考						
信大コンピテンシー	非該当												
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】							⇔	【授業の達成目標】				
	2 4 SSカリ・理学												
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力							⇔	論文やWebから目的の情報を素早く収集し分析できるようになる				
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学												
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力							⇔	専門分野の先端的研究を通じて優れた研究開発を遂行できるようになる				
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力							⇔	プレゼンやディスカッションを経験することで自身の考えを理論的に説明できるようになる				
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学												
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力							⇔	論文やWebから目的の情報を素早く収集し分析できるようになる				
(2)授業の概要	個別の研究テーマを決め、研究目標への到達を目指し実験を行う。その過程で関連する文献を読み、類似分野の動向を把握する。												
(3)授業のキーワード	研究テーマによって異なる												
(4)授業計画	1. 研究テーマを決定する 2. 研究テーマに関する情報を収集する 3. 実験の計画を立てる 4. 実験を実行する 5. データをまとめ考察する 6. 考察に基づき次の実験計画を立てる 7. 研究目標を達成するまで4～6を繰り返し行う 実験データ、今後の進め方について定期的に指導教員と議論する												
(5)成績評価の方法	研究過程および修士論文の内容で評価する												
(6)成績評価の基準	教員の指導に沿い研究ができれば「水準にある」、得られたデータをまとめ自ら考察できれば「やや上にある」、考察をもとに次にどんな実験が必要かを判断できれば「かなり上にある」、自ら実験計画を立案、データ収集、データ処理、考察をおこない次の実験を立案できれば「卓越している」												
(7)事前事後学習の内容	その都度教員と相談しておこなうこと												
(8)履修上の注意	休日、長期休暇の取得などは自身で判断し決めること。コアタイムは設定していないので時間配分も自身で決定すること。												
(9)質問,相談への対応	随時対応												
【教科書】	指定しない												
【参考書】	その都度紹介する												